

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	山梨大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ヤマナシダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	中部地方(愛知県を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	工学部、生命環境学部、教育学部、大学院
	担当教職員名・役職	大木真 工学部教授、田中勝 教育学部教授、古家貴雄 教育学部教授、石井孝明 工学部教授、島弘幸 生命環境学部准教授、久本真嗣 生命環境学部准教授、今井桂 眞路支援室長、原瑞穂 キャリアセンター・キャリアシニアディレクター、山田賢一 キャリアディレクター
受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	236	
受入企業等数	91	
受入企業等名	https://www.yamanashi.ac.jp/ 山梨大学 → 学部/大学院・附属施設:(その他附属施設)キャリアセンター → (センター紹介)インターンシップ → 受入機関の紹介	
インターンシップの分類	2.有給インターンシップ 5.他県をまたぐ広域インターンシップ 6.低学年(大学1年次~2年次程度)からのインターンシップ 7.大学院生を対象とした研究インターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	あらかじめ学生自ら課題を設定し企業・官公庁等において就業体験することにより、キャリア形成に向けた学習意欲の向上、学習計画の再確認や見直しを図る。あわせて社会の一員としての自覚を形成し、社会人としての基本姿勢を習得する。事前指導、受入企業・官公庁等とのマッチングを経て、大学の休業期間等を利用して受入先において1週間以上の間就業体験をした後、設定した課題の達成度などについて事後指導を行う。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次・3年次・4年次・大学院
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	1週間(40時間)以上で1単位、2週間(80時間)以上参加した場合は合計2単位をする学科もある(工学部、生命環境学部)。また教育学部は大学院は実施していない	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	

要素③	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	インターンシップ終了後に職員が受入先企業等を訪問しモニタリングを行っている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	学部単位でインターンシップの目的、意義についての説明会を開催している。その後全学部対象で、参加企業の探し方、参加手続きについての説明会を行っている。参加希望者全員にマナー研修受講を義務付けている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	各学部毎に成果報告会を開催し、学生は自己のインターンシップ成果を発表し、教員からコメントを受けると共に、他の学生の発表を聞き、振り返りを行っている。その後各学部から選ばれた学生が全学報告会で発表し、企業担当者、教員からコメントをもらう。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	主にインターンシップ終了後に企業を担当職員が訪問し、学生の参加姿勢、改善点、インターンシップに期待すること、大学への要望等を聴取し、今後の運営の参考にしている。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生が参加前に作成した「インターンシップ事前準備書」、事後作成した「インターンシップ結果報告書」及び企業が学生毎に作成した「インターンシップ評価書」により成果を判断している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	5日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	大学のHPで案内する企業の紹介欄にインターンシッププログラムの内容、実施期間等を詳細に記載しており、学生は内容を見て参加を希望する企業を決めることにしている。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	大学が毎年10月に開催するインターンシップ全学報告会に企業担当者にも参加してもらい意見を頂くと共に大学の意見も伝えている。またここで発表された内容を基に報告書を作成し関係企業に配布し、インターンシップの理解を促している。各会社に対する大学の意見はモニタリング時にも伝えている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.yamanashi.ac.jp/
問い合わせ	大学等名	山梨大学
	担当部署名	キャリアセンター
	担当者役職名	キャリアディレクター

口 わ せ 先	担当者氏名	山田 賢一
	電話番号	055-220-8240
	メールアドレス	internship@yamanashi.ac.jp